



北陸発!

明日への挑戦

中小企業基盤整備機構（中小機構）では、地域を元気にする各種支援事業を展開しています。毎月第4火曜日のこのコーナーで、中小機構の各事業の内容や事例について取り上げていきます。

昭和天皇に献上するた
めに開発された最高のほ
うじ茶「献上加賀棒茶」
を作る、江戸創業以来1
40余年という老舗の丸



である。i-BIRDは中小機構が運営する石川県立大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学の県内4大学との連携が可能な石川県野々市町にあるインキュベーション施設であり、隣接する石川県立大学の最新の研究機器も使用できる。



いしかわ大学連携インキュベータ (i-BIRD)

石川県野々市町にあり、ライフケア、医療、環境、食品などに関連する新しい事業に挑戦する企業や個人の方を対象にした賃貸施設。隣接する石川県立大学の研究機器が使用できるほか、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学を含めた県内4大学と円滑な連携が可能。また、中小機構から事業化へ向けた支援を受けることができる。

居が決まった。

経験値を科学的に分析

入居後はIMの支援を

る棒茶成分の機能性の研究を行うなど、これからの新しい展開の検討も始めた。

極上の香りを求めて

i-BIRD

八製茶場。「茶業界においては香りの解明は遅れ法と、「香ばしさ」に関する経験と勘による仕事である。近い将来、美味しいお茶づくりのための日夜の努力に、大学との連携による最新技術の成果が加わった新たな付加価値を持つ商品の開発が期待できる。

また、研究者意見交換からスタートし、石川県立大学の最新分析機器を用いた精密な分析・評価を行うなど、着実に連携による成果が現れている。また、金沢工業大学の「匂いセンサーの研究と連携した香り成分の解明、成18年11月に入



が能力開発につながり、日々の仕事に励みになる。また、金沢工業大学の「匂いセンサーの研究と連携した香り成分の解明、成18年11月に入金沢大学との連携によ

次回掲載 11月24日(火)予定

広告